

# 「安全安心社会の為の Safety Service Engineering」(SSE 研究会)

## 第 17 回研究会・議事録

日時： 2012 年 1 月 10 日（火） 14:00 – 17:00

場所： 日本機械学会、会議室

出席者： 8 名

議題：

### 1. 話題提供

安全を配慮したモノづくりを推進しようとしても、少子高齢化が進行し、従来型の産業構造の延長に未来はなく、かつ個人が Quality of Life を追及し前進する事が求められる。高齢化の最新国である日本に、やっとジェロントロジー（老齡学）が導入され始めているので、その同行を話題提供頂いた。

成長型長寿社会とシルバー・イノベーション

～ジェロントロジーが超高齢未来をリードする

(株)ニッセイ基礎研究所／生活研究部門准主任研究員 前田 展弘

(東京大学高齢社会総合研究機構客員研究員)

### 2. SSE 研究会の今後

昨年、福島原発震災が起き、安全の問題を根源としながらも、当研究会或いは学会として建設的な議論を実施する傾向が表れなかった。

その後、歴史的円高により、輸出産業が苦境に立たされ国内産業の空洞化に拍車がかかり、益々安全技術を国内で転換する土壌が減少する傾向にある。

労働災害は基本的に、非上場作業中に起きるもので、その際の電源管理に問題がある。国際規格で Safety Drive System が定められているが、未だ JIS になっておらず、日本は立ち遅れている。今後、本題を取扱ってもよいと思う(加部)。

戸枝氏より、国家試験で電気技能士 1 級、2 級、3 級があるので、オペレータを対象とした安全技能士の制度づくりもあり得るのではないかと発言があり、今後の議論の為のたたき台を提出頂く事になった。

(以上、加部隆史)